

令和5年8月 日

学生 各位

教育・学生担当副学長

新地 辰朗

違法薬物に関する注意喚起

昨今、若者による危険ドラッグ・大麻・覚せい剤など違法薬物の使用が深刻な社会問題となっております。

違法薬物の所持・使用・栽培・製造・受取・譲渡および輸出入は犯罪行為であり、法律で厳しく罰せられます。本学においても、法令に違反した場合は懲戒対象となります。薬物の使用は心身に多大なる悪影響を及ぼし、通常の世界生活を送ることが困難となるばかりでなく、家族や友人関係を崩壊させ、社会の秩序を乱すことにもなります。一時の興味や気の迷いによって、違法薬物に接することのないよう十分注意してください。また、誤った情報に惑わされることなく、甘い勧誘には毅然とした態度で断る強い意志を持つことも大切です。

万が一、違法薬物の誘惑や違法行為に関わるようなことがありましたら、一人で解決しようと悩まず、すぐに、身近な方もしくは大学の窓口に相談してください。

相談窓口

学生支援課（なんでも相談室）

0985-58-7935

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/campus-life/student-counseling-service/>

薬物のない学生生活のために

～薬物の危険は意外なほど身近に迫っています～

大麻



知覚を変化させるが、恐慌状態(いわゆるパニック)を引き起こすこともある。乱用を続けると、勉強に支障をきたすだけでなく、記憶障害、人格変化を起こす。

MDMA



知覚を変化させる。大量に摂取すると高体温になり、死に至る。

ヘロイン



皮膚が鳥肌立ち、全身の強烈な痛みと痙攣におそわれる(禁断症状)。大量に摂取すると死に至る。

コカイン



幻覚や妄想が現れる。大量に摂取すると全身痙攣を起こすほか、死に至る。

危険ドラッグ



麻薬などに類似した構造をもつ有害で粗悪な物質が使用されており、吐き気、頭痛、精神への悪影響や意識障害などの他、死亡に至る場合もある。

幻覚性きのこ

(いわゆるマジックマッシュルーム)



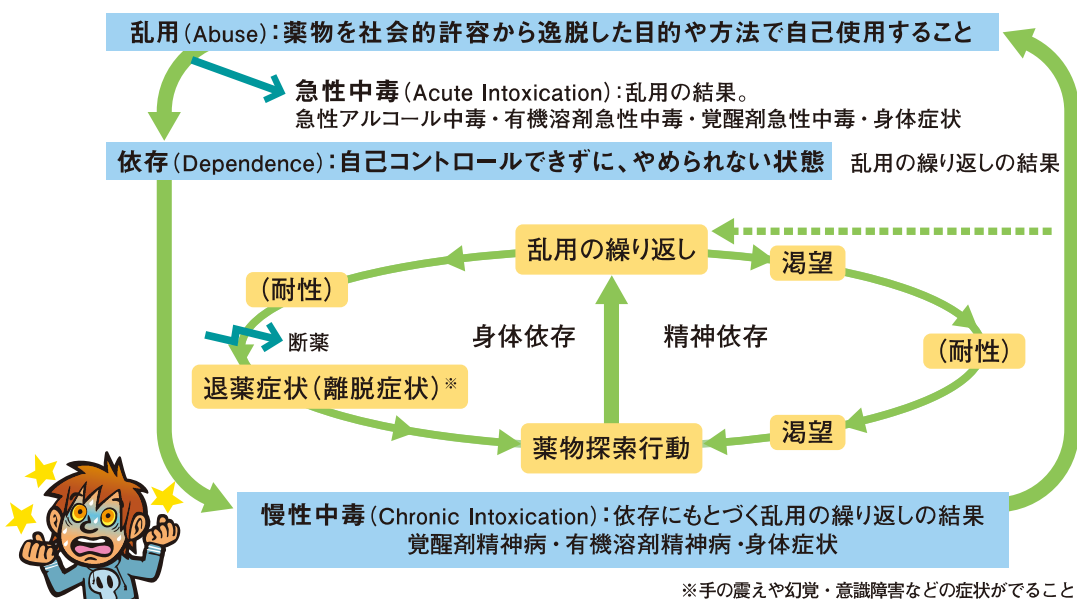
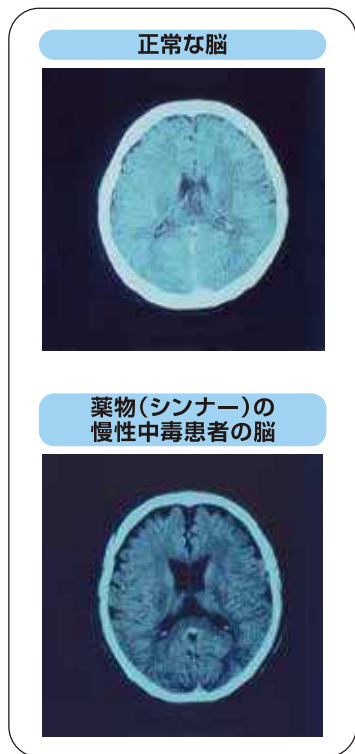
幻覚を引き起こすこともあるが、呼吸困難を起こすことが多い。大量に摂取すると死に至る。

覚醒剤



幻覚や妄想が現れ、中毒性精神病になりやすい。使用をやめても再燃(フラッシュバック)することがある。大量に摂取すると死に至る。

薬物乱用の最大の怖さは、**依存**です!



一度ダメージを与えられた脳は、薬物を使う前の状態に戻らないと考えられています。

大麻や危険ドラッグを誤解していませんか?



- インターネット等で、「大麻は身体への悪影響がない」「依存性がない」などの誤った情報が氾濫しています。しかし、実際には大麻を乱用すると、大麻の花や葉に含まれる成分「THC(テトラヒドロカンナビノール)」が脳に作用して下図のような様々な不具合を引き起こします。
- 特に成長期にある若者の脳に対して影響が強いことも判明しています。間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう!

大麻の乱用による影響		大麻の有害性		大麻を長く使い続ける影響	
知覚の変化	学習能力の低下	運動失調	精神障害	IQ(知能指数)の低下	薬物依存
時間や空間の感覚がゆがむ	短期記憶が妨げられる	瞬時の反応が遅れる	統合失調症やうつ病を発症しやすくなる	短期・長期記憶や情報処理速度が下がる	大麻への欲求が抑えられなくなる



- 「危険ドラッグ」は、「ハーブ」、「お香」、「バスソルト」などと用途を偽装したり、「合法」、「安全」などとだまして売られています。指定薬物又は麻薬として製造や販売が禁止されている物質が入っていることもあります。また、指定薬物又は麻薬については、その所持、使用等が禁止されており、違反した場合には罰則が科せられます。
- 使用した際に何が起こるか分かりません。呼吸困難を起こしたり、死亡したりすることがあります。
- 危険ドラッグについての詳細は、次のページから。

あやしいヤクブツ連絡ネット

検索

<https://www.yakubutsu.mhlw.go.jp/>

薬物乱用は、 あなただけの問題ではありません!

薬物に費やされる
お金によって、
金銭問題が頻発します。

家族の問題

- ・ 家族の心身への負担
- ・ 家族機能の障害
- ・ 家庭内暴力
- ・ 家族崩壊

対人関係の問題

- ・ トラブルの頻発
- ・ 友人知人の喪失
- ・ 孤立
- ・ 薬物乱用仲間の形成

大学では、**薬物事犯に対して、
退学などの厳しい処分**が
下されています。

学生生活の問題

- ・ 学業怠慢
- ・ 学則に基づく処分
- ・ 社会的制裁

健康の問題

- ・ 性格の変化
- ・ 精神障害
- ・ 身体的障害



社会的な問題

- ・ 事故の多発
- ・ 薬物汚染
- ・ 犯罪の多発

薬物は、**暴力団の
収入源になる**など、
**社会の安全を
脅かすもの**です。

薬物乱用を取り締まる法律

●持っているだけでも
罰せられます

●懲役刑など厳しく
罰せられます

覚醒剤
覚醒剤取締法
懲役10年

大麻
大麻取締法
懲役5年

指定薬物
医薬品
医療機器等法
懲役3年

MDMA
麻薬及び
向精神薬取締法
懲役7年

コカイン
麻薬及び
向精神薬取締法
懲役7年

ヘロイン
麻薬及び
向精神薬取締法
懲役10年

あへん
あへん法
懲役7年

シンナー等
毒物及び
劇物取締法
懲役1年

※「非営利目的の所持・譲渡」の最高刑

薬物乱用のない社会と学生生活を!

